

大濱信泉プロジェクト『勇気づけの教育』の推進 (63)



吉原小学校を吉原笑楽校へパートⅡ

～学校を楽しくするのは 自分だ！～

石垣市立吉原小学校 校長 大浜公三枝

本校の学校教育目標「よく考え自ら学習する子（自律）」「仲良く助け合う子（協働）」「たくましい体と気力のある子（健康・意欲）」は、子ども達が社会に出ても必要となる大切な資質能力です。学校教育全体でその力を育てていきますが、特に本校が重視しているカリキュラムに「特別活動」があります。特別活動は、学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事から構成され、それぞれ構成の異なる集団での活動を通して、児童の「学校生活を送る上での基盤となる力」や「社会で生きて働く力」を育みます。子ども達は、「吉原小学校を吉原笑楽校にするのは、自分たちだ！」を合い言葉に、日々取り組んでいます。以下、10月18日（火）八重山教育事務所主催の「生徒指導（児童会・生徒会）担当者研修会」での児童会担当 上里哲太郎教諭の実践報告をもとに、本校の「児童会活動」を紹介します。

【1 吉原っ子会議】

吉原っ子会議とは、小学校1年生～6年生の全児童による話し合い活動です。議題は、年間計画が立てられています。まず、事前に、一人ひとりがファイルに自分の考えを書き、自分の考えを持つことから始まります。また、司会は6年生が務め、自分達で話し合いの計画をたて、進めていきます。10月の議題は、運動会のスローガン決めでした。入れたい言葉やキーワードを発表し、精選して行きました。これまでは、意見が分かれた場合は、多数決で決めることが多かったのですが、今回は、司会の6年生から「話し合いで決めていきましょう」という声が上がりました。「継続は力なり」、話し合い体験の積み重ねが、少数派の意見をくみ取り、話し合いに反映させる6年生になっているのだと思います。

【2 児童会掲示板】

本校には、4つの委員会（飼育・栽培、保健・給食、放送・体育、図書・掲示）があり、毎月第4木曜日の6校時に委員会活動が計画されています。活動内容として、先月の活動の振り返りと、今月の目標や取組を計画します。そして、これらの内容は、児童会掲示板で情報の共有を図っています。例えば、放送委員会に子どもがリクエスト曲をお願いしたり、図書委員会にリクエストの本をお願いしたりなど、子ども同士を繋げる活動につながります。ちなみに吉原小学校の委員会活動は、小学校1年生から6年生で構成されています。

【3 児童集会】

学校を楽しくするために各委員会が集会を計画します。まず、飼育・栽培委員会は、昨年度八島小学校から譲り受けた鳩についてのクイズを出したり、鳩の名前を募集したりして、鳩への関心を高めました。次に保健・給食委員会は、歯を大切にすることを促す「歯っぴー集会」でミュータンス菌に仮装をして、ダンスで盛り上げてくれました。また、全校児童を元気にするために学校に植えられているシークワサーでジュース作りを行い、給食の時間に乾杯しました。そして、放送・体育委員会は、運動会に向け、紅白のメンバーを発表したり、紅白に分かれてのドッチボール大会を実施したりしました。今年度の運動会は、教師も紅白に分かれての実施の為、教師、そして校長も子どもたちと混じってドッチ

ボール大会をしました。最後に、図書・掲示委員会は、七夕集会です。七夕にちなんだ絵本の読み聞かせや願いを込めた短冊の発表などをしてくれました。

【4 児童会行事】

吉原小ならではの児童会行事として、敬老訪問があります。地域のお年寄りとの交流も兼ね、「地域のお年寄りに長生きしてほしい」という願いを込め、毎年プレゼントを贈っています。吉原っ子の素晴らしいところは、訪問の際、地図を見なくても、地域のオジー、オバーがどこに住んでいるのか分かるところです。そして、今年度は自分たちで染めたきれいなハンカチをプレゼントし、大好評でした。他にも、「1年生を迎える会」や「6年生を送る会」、「勤労感謝訪問」「赤い羽根募金活動」等に取り組んでいます。その際、児童会役員が中心となって目的や内容を考えています。

吉原小学校の児童会活動で、子ども達一人一人が主体的に活動しているのは、小学校1年生から委員会活動や児童会行事に関わることで、先輩の姿を近くで見て、学ぶことができるからです。一つ一つの活動に計画的に丁寧に取り組むことで、子ども達は達成感を味わい、所属感を強め、自己肯定感が上がっていくのです。これからも、「吉原小学校を吉原笑楽校にするのは、自分たちだ！」を合い言葉に、日々取り組んでいきます。

【吉原っ子会議】



【敬老訪問】

